

環境未来都市の取り組みについて

1 環境未来都市 24 年度の主な取り組み

- (1) 環境未来都市計画の策定
5月に、低炭素・省エネルギー、水・自然環境、超高齢化対応、クリエイティビティ、チャレンジの5分野にわたり、30の取組を掲げた計画を策定。
- (2) 国の支援措置の活用
「環境未来都市先導的モデル事業補助金」(24年度予算額 10.3億円)について、本市事業2件、民間事業4件が採択(補助金合計額 約6,400万円)。
- (3) 環境未来都市推進プロジェクトの立ち上げ
環境未来都市の取組をさらに推進するため、区局や分野の壁を越えた連携によって新しい成功事例を創り出す取組を「環境未来都市推進プロジェクト」と位置付け、下記2のプロジェクトを設置。
- (4) 国内外に向けたプロモーション
 - ・24年6月 「リオ+20 国連持続可能な開発会議」(ブラジル・リオデジャネイロ)
 - ・11月 「アジア・スマートシティ会議」(パシフィコ横浜)
 - ・25年2月 「環境未来都市構想推進国際フォーラム」(北海道・下川町)

2 環境未来都市推進プロジェクトの取り組み

- (1) みなとみらい2050プロジェクト(温暖化対策統括本部・都市整備局・港湾局等)
みなとみらい21地区の事業着手から約30年が経過し、この間の社会情勢の変化をふまえ、エネルギー対策やBCP(事業継続計画)など、新しい要素を取り入れた環境未来都市・横浜に相応しいスマートなまちづくりを進めていきます。
外部有識者等で組織される審議会を設置し、検討を進めていきます。そのため、審議会設置条例を議案提出する予定です。
- (2) 持続可能な住宅地モデルプロジェクト(建築局・温暖化対策統括本部・政策局・健康福祉局等)
誰もが安心して暮らし続けることができる持続可能な魅力あるまちづくりに向け、たまプラーザ駅北側地区等の各モデル地区において、地域、民間事業者、大学等幅広い主体と連携し、多世代交流、福祉、再生可能エネルギー利用、団地再生等の地域課題の解決に取り組みます。
- (3) スマートな住まい・住まい方プロジェクト(建築局・経済局・温暖化対策統括本部等)
市民一人ひとりに省エネ・創エネを意識した住まいやライフスタイルを選択していただけるよう、生活の基礎となる「住まい」・「住まい方」を切り口に、既存住宅の省エネ改修のモデル事例を示すなどしながら、普及啓発活動を展開します。
- (4) 区役所提案プロジェクト
区役所提案プロジェクトとして、次のプロジェクトを推進します。
 - ・くぬぎ台小学校の跡地利用を契機とした地域活性化プロジェクト(保土ケ谷区)
学校の跡地利用検討とともに、地域が主体となって継続的に進める地域活性化策をまとめていきます。
 - ・環境学習の技術移転による国際貢献事業(港北区)
小学生を対象とした体験型講座や、鶴見川流域の環境学習の技術移転による国際貢献を実施します。